



平成27年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 イムラ封筒

コード番号 3955 URL <http://www.imura.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 井村 優

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 河合 新一

TEL 06-6910-2511

四半期報告書提出予定日 平成26年6月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第1四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第1四半期	5,927	6.8	192	167.4	208	91.5	187	103.7
26年1月期第1四半期	5,547	△0.6	72	△28.2	108	△14.7	91	34.9

(注) 包括利益 27年1月期第1四半期 136百万円 (△42.4%) 26年1月期第1四半期 237百万円 (48.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第1四半期	8.77	—
26年1月期第1四半期	4.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年1月期第1四半期	20,164	11,650	57.7
26年1月期	19,813	11,556	58.2

(参考) 自己資本 27年1月期第1四半期 11,631百万円 26年1月期 11,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年1月期	—	—	—	—	—
27年1月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,570	2.0	290	△12.8	310	△19.7	150	△49.1	7.02
通期	22,090	1.1	300	36.0	330	8.4	150	△41.8	7.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年1月期1Q	21,458,740 株	26年1月期	21,458,740 株
② 期末自己株式数	27年1月期1Q	101,533 株	26年1月期	101,533 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年1月期1Q	21,357,207 株	26年1月期1Q	21,357,207 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在における経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報等.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8

【定性的情報・財務諸表等】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策により企業収益の改善や雇用・所得環境の持ち直しが見られるなど、緩やかな回復基調の動きが見られました。一方で、消費税増税前の駆け込み需要の反動による景気の下振れリスクも懸念され、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは、企業・社会のコミュニケーションに幅広く貢献できるよう、徹底した構造改革に取り組み、お客様との強固な信頼関係の構築を図るとともに、品質保証体制の強化および製造原価の低減に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は59億27百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は1億92百万円（前年同期比167.4%増）、経常利益は2億8百万円（前年同期比91.5%増）、また、市道拡幅による奈良新庄工場の土地収用に伴い、特別利益に固定資産売却益19百万円および移転補償金36百万円を計上したことなどにより、四半期純利益は1億87百万円（前年同期比103.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(封筒事業)

電力会社向け請求書用封筒の減少や通信教育会社の企画中止などがありましたが、商品仕入の強化による新規案件の獲得やデザイン提案による関連商品の受注増に加え、官公庁関連受注や消費税増税前の駆け込み需要などもあり、売上高は47億71百万円（前年同期比3.7%増）となりました。損益面では、時間外手当や運搬費が増加いたしました。固定経費の削減に努め、営業利益は1億23百万円（前年同期比38.9%増）となりました。

(メーリングサービス事業)

総合提案力の強化に取り組み、企業の販売促進に伴うアウトソーシング案件の獲得に努めたほか、官公庁関連受注やダイレクトメールの増加などにより、売上高は5億98百万円（前年同期比6.2%増）となりました。損益面では、不採算案件の見直しなどにより収益性が改善し、営業利益は29百万円（前年同期比281.4%増）となりました。

(その他)

子会社における封入機の大型案件に加え、消費税増税前の駆け込み需要が寄与し、売上高は5億57百万円（前年同期比45.5%増）、営業利益は38百万円（前年同期は営業損失25百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億51百万円増加して201億64百万円となりました。これは主に、増収に伴い現金及び預金や売上債権が増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2億57百万円増加して85億14百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金や賞与引当金が増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ94百万円増加して116億50百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が減少したものの利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

なお、自己資本比率は同0.5ポイント減少して57.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点において、平成26年3月14日に発表いたしました「平成26年1月期決算短信」に記載しております平成27年1月期業績予想からの変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,302	3,468
受取手形及び売掛金	3,245	3,340
電子記録債権	354	394
商品及び製品	452	460
仕掛品	241	262
原材料及び貯蔵品	422	387
その他	1,360	1,592
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	9,366	9,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,719	1,688
機械装置及び運搬具（純額）	1,900	1,842
土地	4,303	4,302
その他（純額）	362	427
有形固定資産合計	8,286	8,260
無形固定資産		
その他	56	58
無形固定資産合計	56	58
投資その他の資産		
投資有価証券	1,362	1,293
その他	768	679
貸倒引当金	△26	△19
投資その他の資産合計	2,104	1,953
固定資産合計	10,447	10,271
資産合計	19,813	20,164

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,051	3,386
短期借入金	1,000	975
1年内返済予定の長期借入金	536	511
未払法人税等	42	30
賞与引当金	295	436
その他	1,102	1,179
流動負債合計	6,028	6,520
固定負債		
長期借入金	954	832
退職給付引当金	216	232
役員退職慰労引当金	410	401
資産除去債務	94	93
その他	553	434
固定負債合計	2,228	1,993
負債合計	8,257	8,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,363	1,363
利益剰余金	8,668	8,812
自己株式	△25	△25
株主資本合計	11,203	11,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	337	283
その他の包括利益累計額合計	337	283
少数株主持分	15	18
純資産合計	11,556	11,650
負債純資産合計	19,813	20,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日)
売上高	5,547	5,927
売上原価	4,433	4,714
売上総利益	1,113	1,212
販売費及び一般管理費	1,041	1,019
営業利益	72	192
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	1	1
デリバティブ評価益	21	1
保険返戻金	10	1
保険配当金	—	4
その他	15	13
営業外収益合計	52	22
営業外費用		
支払利息	8	5
その他	7	1
営業外費用合計	15	6
経常利益	108	208
特別利益		
固定資産売却益	0	19
移転補償金	—	36
特別利益合計	0	55
特別損失		
固定資産除却損	2	1
特別損失合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	106	262
法人税、住民税及び事業税	12	23
法人税等調整額	7	48
法人税等合計	20	72
少数株主損益調整前四半期純利益	86	190
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△5	3
四半期純利益	91	187

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	86	190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	150	△53
繰延ヘッジ損益	1	—
その他の包括利益合計	151	△53
四半期包括利益	237	136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243	133
少数株主に係る四半期包括利益	△5	3

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	封筒事業	メーリングサ ービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,601	563	5,164	383	5,547	—	5,547
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	—	18	27	45	△45	—
計	4,619	563	5,183	410	5,593	△45	5,547
セグメント利益又は損失 (△)	89	7	96	△25	71	1	72

- (注) 1 その他には、以下の事業が含まれております。
 コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発
 医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
 不織布製の封筒・造園資材等の製造販売並びに機械部品等の輸出入
 機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売
- 2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	封筒事業	メーリングサ ービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,771	598	5,370	557	5,927	—	5,927
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	0	22	38	60	△60	—
計	4,793	599	5,392	595	5,988	△60	5,927
セグメント利益	123	29	153	38	191	1	192

- (注) 1 その他には、以下の事業が含まれております。
 コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発
 医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
 不織布製の封筒・造園資材等の製造販売並びに機械部品等の輸出入
 機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売
- 2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。